

社会福祉法人いずみ会 小川保育園
令和5年度事業計画書

1 基本方針

幼児期の体験を通して仲間と共に健やかに育ちあう

2 保育園の運営

(1) 所在地 埼玉県比企郡小川町大塚529-6

(2) 定員 100名

0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
9名	14名	15名	18名	22名	22名

(3) 事業開始年月日

認可年月日 1950年12月5日

(4) 令和5年度職員定数

常勤職員	17人	園長 1人 保育士 12人 調理師 1人	主任保育士 1人 栄養士 1人	事務員 1人
パート職員	5人	保育士 2人	調理 2人	保育補助 1人

(5) 組織構成

理事長	法人の運営・修繕・事務補助	尾島牧人
総括園長	小川・小川っ子園運営責任者	尾島満矢
園長	運営責任者・雇用責任者・保育責任者	尾島久枝
保育主任	保育責任者 職員健康管理 園長補助	菅原亜希子
クラスリーダー	クラスをまとめ、アイデアを実践する	関根亜矢
栄養士	栄養管理責任者・衛生管理責任者	高橋美沙紀
看護師	保健衛生・身体測定・健康管理	高橋詩織

(6) 会議

会議名	頻度		内容
職員会議	月1回	常勤職員	保育行事、保育内容、子どもの姿、施設管理、職員処遇
給食会議	月1回	園長・栄養士・主任・有機農家から1名	献立・離乳食・めだか食の検討
準備会議	週1回	園長・副園長・主任	職員会議議題の選考
週案会議	月2回	主任・クラス主任	クラスの活動・連絡等
朝会・昼会	週1回	園長・主任・各クラス主担	活動計画・報告などの意見の交換

3 保育計画

(1) 園の目標

- ◎この幼児期に運動神経と感覚神経を磨き脳の発達を促す。
- ◎自然との触れ合いにより感性豊かな子
- ◎仲間との関わりの中で励まし、喜び合い思いっきり泣き笑える子。
- ◎思ったことを言葉や絵・歌など、仲間と表現する喜びをわかち合える子。
- ◎行事等を通して親子、親同士、仲間と共感し育ち合う。

(2) 令和5年度園児数とクラス配置

令和5年4月1日現在

	たんぽぽ 0歳	めだか 1歳	りす 2歳	ひよこ 3歳	すみれ 4歳	つばき 5歳	合計
園児数	6	11	18	22	15	24	96
保育士	2	3	3	2	1	1	12
先生	三村 古屋	高梨 安藤 水村	峯岸 櫻井 本多	田口 中畑	神田	関根	保育士 12人
栄養士 高橋 主任 菅原 事務 牧人 職員フリー 菊江・新井 パート○ 新井・尾島 一時保育 なし 給食パート○ 跡部・小島・二宮							他職員 10人

(3) 勤務体制

体制	勤務時間
通常勤務	8:30～17:30
0.1.2歳児A	8:00～17:00
0.1.2歳児B	8:45～17:45
3.4.5歳児A	8:00～17:00
3.4.5歳児B	8:45～17:45
遅番A・B	9:00～19:00
早番A・B	7:30～16:30
パートA	8:15～16:00
パートB	8:30～16:15

※乳児棟 8時～16時00分

(4) 年間行事

*別紙1にて

(5) 各種係を設置し職員全員が参加し運営しています。

係名	内容	担当
避難訓練	毎月の避難訓練を計画実地している	神田
健康診断	委託医への連絡・検診の準備、確認	本多
研修会記録	職員が参加した研修会名、内容の記録	高梨
保母学校	保母学校の日にもち確認、職員への声かけ	高梨
遊具管理	遊具の管理、修理等	尾島（久）
処遇会議	2カ月に一回会議を行う処遇の記録	三村
希望保育	各クラスの集計、名簿作り、申し込み用紙の配布	高梨
掲示板	行事の詳細を書き、園長主任に確認し掲示	神田
月刊本	月1回、各クラスの数分+クラス分を配布	菅原
通信はぐくみ	行事のプリント構成	尾島、菅原
写真	保育の姿を撮影、配布、集金、集計する	尾島、菅原
給食会議	月一回翌月の献立内容の検討	高橋（み）
職員会議	会議の内容準備、記録	三村
延長保育	名簿の管理、月末に名簿を確認し、主任へ提出	峰岸
赤ちゃんサミット	赤ちゃんサミット準備、記録	桜井
動物の世話	動物の小屋の清掃、餌をあげる	関根
消耗品	トイレトペーパーや石鹸等保育に関わる消耗品管理	安藤
乳児棟責任者	乳児棟における鍵締他 安全な環境づくり	三村
土曜保育責任者	土曜保育の希望者集計と管理	峯岸
パパママ先生	保育士体験事業の運営準備・用意。面談等	尾島、菅原
ホワイトボード	園長室前のボード	峯岸
昼会	昼会の呼びかけ収集	関根

(5) 職員名簿・キャリアパスモデル

*別紙2

(1) 農体験計画

担当責任者	尾島（満）	年間での作物の管理・種や苗などの買い付け
田んぼ係	関根・菅原	田んぼの管理 雑草駆除 田植え準備
畑係	神田・菅原	畑の管理 雑草駆除・種まき苗植え準備

(2) 目標

- ◎農作業を通して様々な働きができる手を育てる。
- ◎農作業を通して、仲間との関わり、働く事への喜びを深める。
- ◎種をまき・育て・収穫し・食べる、を連動させ体験し食への関心を深める。
- ◎地域の食文化を継承しながら作物を加工し食する事で、食文化を豊かにする。
- ◎四季の変化を感じ、旬の野菜のうまさを味わう。

(3) 実践

◎畑では、初夏秋冬を通して、様々な種類の野菜を育てる。

◎米・大豆・小麦の穀物の栽培し、加工し、食べる体験をする。

- ・田んぼでは、一年を通して田んぼの仕事をし、育てたお米を保育園の給食として使用する。
- ・大豆は収穫後乾燥させ、手指を使い殻をむいて収穫する。その後、親子で味噌を作る。
- ・小麦は収穫後粉にひいて小麦粉として石窯でパンを焼く。

◎夏野菜では収穫バサミヤスコップなどの農作業の道具を使いこなす。

◎草むしりなどをする事で手指の力をつける。年長は草を揃え根っこからとれるよう努める。

◎野山で採れる山菜や実をそれぞれに調理し食べる。

(4) 田畑年間計画

春	全園児・じゃがいも植え つばき組・小麦収穫 すみれつばき組・ドロリンピック つばき組 もみふり・石拾い・苗かき 田植え・田んぼ除草作業 つばきすみれ組・夏野菜苗植え ミニトマト・きゅうり・ピーマン・ オクラ・なす・ゴーヤ・かぼちゃ・ インゲン・ラディッシュ	秋	つばき組・稲刈り 脱穀・新米パーティー すみれ組・大豆収穫 全園児・さつまいも収穫 全園児・小松菜種まき つばき組・白菜種まき 全園児・大根種まき
夏	すみれ組・大豆種まき 全園児・じゃがいも収穫 全園児・さつま苗植え 全園児・夏野菜収穫	冬	全園児・小松菜収穫 全園児・白菜収穫 全園児・大根収穫 すみれ組・小麦種まき 全園児・どんど焼き

4 給食・食育計画

(1)

栄養士	高橋	献立の作成・栄養管理・衛生管理
調理責任者	高橋	給食室の衛生管理。 食中毒予防の管理。 調理具等管理。 アレルギーのある園児への給食の提供。 配膳の在り方や盛り付けにまで目を配る。
調理師	跡部 二宮・小島	調理

(2) 給食年間目標

- 1・温かくて手造りの給食
- 2・おいしくて、安全な食材を選ぶ（有機栽培の新鮮な食材の使用と、無添加の食材の使用）
- 3・和食文化や四季の味を大切にした給食（行事食や伝統食材）
- 4・それぞれの年齢に合った給食（3段階に分けた給食の献立とアレルギーの対応）
- 5・よく噛んで食べられる様な食材の加工を考えた給食（咀嚼力は話す事、意欲につながります。）
- 6・盛り付けや配膳などに気を配り、子ども達が楽しく食べられるよう工夫する。

食育年間目標

- 1・火を使って調理をする体験をする
- 2・つくしやドドメなど野山のモノを食べて、自然の味覚を味わう。
- 3・野山や園庭など大空の下で食べる体験をする。
- 4・包丁などの調理器具を使って調理する体験をする
- 5・正しい姿勢で食事ができるように促す。

(3) 給食・食育年間計画

*別紙4にて

5 保健計画

(1)

担当責任者	高橋	感染が拡大した時など期間と欠席状況と主な症状を記録する。 検診の予約し検診の準備・記録をする。 手洗い・うがいなどの呼びかけや注意。 手拭きタオルなし、ペーパータオルにする。
-------	----	--

(2) 保健計画

◎園児

	頻度	予定日
身体測定	2ヶ月1回	5/16・7/4・9/12・11/14・1/16・3/1
内科検診	年2回	6/9・10/31
歯科検診	年1回	6/8
眼科検診	年1回	6/1

◎職員

	頻度	予定日
職員健康診断	年1回	7～8月頃
乳幼児クラス検便	毎月1回	

6 防災計画

(1)

担当責任者	尾島（満）	毎月の避難訓練を計画し、消防署による訓練の連絡	
係			

(2)

非常時の対応	消防計画書により対応します。		
避難訓練	火災/地震を想定した避難訓練を月1回実施 消防署指導での避難訓練を年1回実施		
防災設備	自動火災報知機	消火器 8	防火用水 5
避難場所	園庭/駐車場		

7 設備点検等

(1)

担当責任者	尾島（満）	消防設備点検・受水槽清掃の連絡。 遊具の老化チェック。
-------	-------	--------------------------------

(2) 設備点検計画

◎10月 受水槽清掃 ◎消防設備 5月・11月

◎遊具定期点検 4月8月12月 *マニュアルに沿って行う

8 職員育成

(1)

担当責任者	尾島（久）・菅原	職員の育成・研修の計画 園内学習会の企画・実施
-------	----------	----------------------------

(2) 職員育成目標

- 1 主体的にその場に存在している
- 2 柔軟性と決断する勇気がある
- 3 他者の枠組みで把握する努力ができる。
- 4 相互理解のために自己開示を率先できる開放感がある
- 5 自己の間違えや知らない事を認める事に素直である。

よい仕事人の条件（中野民夫より 一部を引用）

(3) 職員育成計画

- ◎園内学習会を年に2回企画し実施する。
- ◎昼会など通して話合える環境をつくる。
- ◎研修会の選考をして計画する。
- ◎年末年始の交流会や研修旅行など親睦会を企画し実施する。

9 保護者への支援

(1)

苦情対応	担当 菅原 責任 尾島 (久)	保護者との話合いの対応や準備
------	-----------------	----------------

(2) 目標

- ◎親・子・保育者が共に保育を作り上げ、子育てを通して育ち合える関係を築く。
- ◎お互いに感動を共感できるような、行事作りを共にする。
- ◎開放的な雰囲気を大切にお互いに信頼関係を作り上げる。
- ◎安心して子育てができるよう様々な角度から支援する。

(3) 実践

- ◎公開保育などを通してのお話合い。
- ◎行事での保護者の感想や保育園の感想をプリントとして報告する。
- ◎保育士体験事業により日々の保育を体験してもらい、その後、話合いをする。

10 保護者会の活動

(1) 目標

- ◎子どもが育つ環境を作る。
- ◎保育園に関わるすべての人や地域の人に開かれた行事を作る。
- ◎保育園は保護者会の意見を尊重し柔軟で多様性を持って対応する。

(2) 保護者会年間行事

保護者会	5/13	役員を選出、保育方針話合い
秋まつり	9/8	園庭での子ども祭り
クリスマスバザー	12/23	バザーの開催
親子観劇会	2/3	劇や歌など観劇会の企画

11 保育3カ年計画

令和5年度	令和6年度	令和7年度
合同保育	駐車場整備	地域交流事業

年間行事 *別紙1にて 職員名簿 *別紙2にて 職員連絡簿 *別紙3にて
給食・食育年間計画 *別紙4 保護者会役員名簿*別紙5